

国への要望活動報告書

議員名：寺沢 さゆり

日 時：各省庁 令和7年11月18日（火）10時45分～16時20分

【内 容】

●農林水産省 農林水産大臣 鈴木 憲和 氏

「1. 鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額」

「2. 地域計画を実現させる『農業情報連携プラットフォーム構築事業』
について要望

国会中の大変お忙しい中ではあったが、鈴木大臣に直接要望することができた。まず「1. 鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額要望」は、野生鳥獣による農業被害は依然として深刻な状況にある。駆除・個体数調整は野生鳥獣による農業被害軽減に欠かせない重要な取り組みであるが、捕獲従事者からは、わなの購入や修理費用、物価高騰によるその他の費用負担が増加しており、補助金の増額・拡充を求める声が強く寄せられている。市では独自に国の補助単価に上乗せして対応しているが捕獲従事者の意欲向上のためにも予算及び補助金単価の増額を要望した。

鈴木大臣からは、長野市が多くの額を上乗せしてくれているのは素晴らしい。長野では熊は野生鳥獣のカテゴリーに入っていないと聞いているが、野生鳥獣被害の大きさは理解している。全国的な課題であるので熊も含めて対応する予定。

「地域計画を実現させる『農業情報連携プラットフォーム構築事業』に対する支援」は、長野市は、33か所において地域計画を策定し、農業者とともに将来の地域農業の維持・発展に向け取り組んでいる。こうした取り組みを有効に進めるため、「目標地図」を更に発展させ、農地・営農・担い手等の各種データを横断的に活用できる「農業情報連携プラットフォーム」の構築に向け検討している。これにより農地の有効活用と担い手の確保を進め、生産性と収益性の高い持続可能で骨太な農業経営の実現、地域計画の実現を目指す。長野市の先進的な取り組みをモデルケースとしてプラットフォームの設計段階における助言、財政的支援・技術的な伴走支援を要望した。

鈴木大臣からは、大変先進的な取り組みでぜひ応援したい。こんなに職員がやる気があるのはなぜか。予算を見てもすべて国に対して予算措置をお願いするのではなく、半分を自分で出すという姿勢は大事。一度視察に伺いたい。

<感想>

鈴木大臣からは大変前向きな回答をいただいた。長野でも熊による人身被害が出ていることや市営のジビエ加工センターも稼働しており、視察も多く全国的に注目されていることや猟友会の今の現状などをお話した。国会でも取り上げられているように全国的な課題であり、大臣の出身地である山形でも同様の現状ということもあり、対策を積極的に取らなければという気持ちが感じられた。また、プラットフォーム構築事業については、田畑の所有状況や耕作予定などを正確に見える化することにより今後の対策などを検討しやすくなるなど多くのメリットがあり、長野市でこれが構築されると全国的な課題であることに対して大変有効なデータが得られることになり、日本の農業の発展に必ず寄与すると考える。ぜひとも一緒に開発に取り組んでいただきたい。

●文部科学省 文部科学副大臣 小林 茂樹 氏

「校内教育支援センター支援員配置に関わる補助金の活用」について要望

教育支援体制整備事業費補助金（校内教育支援センター支援員配置事業）は令和8年度の概算要求に2000校から5000校への補助拡充が示されている。長野市は、不登校の低年齢化と早期対応の重要性を背景に令和6年度より市立小学校の校内教育支援センターに支援員の配置拡充を進めてきているが、長野県では、新規に支援員を配置する中学校のみに限定して交付対象を定めているため国の補助を活用できない状況にある。長野県の予算措置がなくても市町村が行う事業費に対して国の補助が受けられる仕組みを作ってほしいと要望。

小林副大臣からは、不登校児童への対応は早いうちから行うのが有効だと考えている。また、学校復帰するには学校から離れてしまうと復帰しにくくなると考えている。国も必要な支援だと考えているので長野県に対して補助を出している。長野県に対して小学校にも補助してくれるよう直接要望してほしい。

<感 想>

全国的な傾向として小学校2年生が一番不登校になる子が多いという統計結果が出ている。長野市も全国平均より不登校の数が多い現状の中でササランドという郊外の教育支援センターを開設したり、小学校の校内教育支援センターに市費で支援員を配置し対応しているが、なかなか不登校児童生徒数が減らない現状にある。今後も粘り強く国や県に対して補助の要望をしていく必要を感じた。

●国土交通省 国土交通審議官 塩見 秀之 氏

「1. 都市計画道路の整備に対する支援（社会資本整備総合交付金事業）」

「6. 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了」

「10. 上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援の拡充」

と、この後要望活動を行うものも含め全10の項目についての要望。

都市計画道路の整備に対する支援については、「長野市立地適正化計画」による都市機能の誘導とあわせて、集約型都市構造の骨格となる街路整備を計画的に実施している。整備のための家屋移転補償等への多額の費用や相生橋架け替えには更に多くの予算措置が必要となることから防災・安全交付金の十分な予算配分を要望した。信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについては、洪水や浸水被害のない安全・安心な暮らしは沿川住民の長年の悲願であるので、増額分の事業費の確実な確保と各事業が一日でも早く完成するよう要望した。そして、上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援では、長野市は管路延長が長く、人口減少に伴い料金収入の減少から更新・耐震化事業が進んでいない現状。国の補助は枝管に対しては補助がほとんど対象外のため末端の排水管、污水管への補助対象の拡充と補助採択要件の緩和を要望した。

塩見審議官からは、現状はよく理解している。できる限り要望に応えられるように努力していきたい。また、国民スポーツ大会のための施設の改修についてはプレ大会に間に合わなくては困ってしまうので担当者によく伝えておく。

<感 想>

都市計画道路の整備や信濃川水系緊急治水に対して大変ご配慮いただいていることに感謝している。いずれも市民生活に直結している長野市の大きな課題で

あるので、さらなる予算配分を重ねてお願いした。また、上下水道施設の対策は企業会計のため料金収入での対応も必要ではあるが、年々給水人口が減っている中で中山間地が多く占める長野市では大変大きな課題となっており、能登半島で起きた地震後の状況になりかねないため、今後も国に対して要望し続ける必要があると考える。国民スポーツ大会に使用する施設の改修も大きな予算が必要な時期となっているため、継続した支援とプレ大会に間に合うよう早期の十分な予算措置を今後も重ねてお願いしていく必要があると感じた。

●国土交通省

都市局市街地整備課企画専門官 高橋 洋平 氏 他2名

「3. 中央通り歩行者優先道路化事業への支援（善光寺表参道地区都市構造再編集中支援事業）」

「8. 北長野地区の再整備に対する継続支援（都市構造再編集中支援事業）」

善光寺表参道を軸とした賑わいのあるまちづくりの実現に向け、中央通りの歩行者優先道路化に向けた計画策定を着実に実施できるよう事業の新規採択と十分な予算配分の要望をした。また、北長野地区の再整備として長野運動公園の道路事業、公園事業の工事に加え地域生活基盤整備事業への十分な予算配当など引き続きの支援要望。

高橋企画専門官からは、中央通り歩行者優先道路化事業については担当者とやり取りをして中身の確認をしていく。長野運動公園の体育館は、令和10年に開催される国スポ全障スポの会場として整備している大事な場所。令和9年のプレ大会に間に合うように予算確保に努力する。

<感想>

中央通りは善光寺さんに向かう大事な道路。再来年に御開帳を迎える。ぜひとも国の支援をいただく中で新田町交差点以南も一体的な整備ができるようにご支援いただきたい。また、東和田運動公園についてはぜひともプレ大会に間に合うよう、合わせて大切な避難所が早急に確保されるよう重点的な予算配当をこれからも引き続きお願いしていきたい。

●国土交通省

都市局参事官（国際園芸博覧会担当）付企画専門官 下出大介氏

「9. 第82回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援」

2028年開催予定の第82回国民スポーツ大会に向けて南長野運動公園に競技会の開催に必要となるフットボール場3面とクラブハウス等付帯設備の整備に関して、令和8年度に運動施設、建設物の建設工事がピークを迎えることから十分な予算配当を引き続き要望した。

下出企画専門官からは、予算が限られている中でたくさんの要望がある。価格高騰は理解している。国スポに間に合うように重点配分を考えている。

<感想>

社会資本総合交付金の要望が全国的にも多くあることは承知しているが、（事業の）終わりが決まっている事業なのでなんとかプレ大会に間に合うように工事を進められるよう引き続きの支援をお願いしたい。

●国土交通省

住宅局市街地建築課長 田中 正幸 氏

「2. 長野駅前 B-1 地区市街地再開発事業への支援」についての要望

善光寺表参道の入り口としての顔づくり、賑わいの創出、安全・安心なまちづくりの実現に向けて市街地再開発事業を円滑かつ確実に進めるための十分な予算配分を要望した。

田中課長からは、ちかぢか準備組合から開発組合に移行すると聞いている。補正予算など有効に活用して事業を進めていただきたい。

<感想>

事業が遅れている状況にはあるが、今後の事業の進捗状況に合わせた十分な予算配分をお願いしたい。

●国土交通省

住宅局住宅総合整備課長 勝又 賢人 氏

「7. 既存公営住宅の長寿命化等に対する支援」についての要望

既存の公営住宅は年数の経過に伴い劣化が進行していることから、長寿命化の継続的な実施と入居者の居住性・安全性の確保は不可欠であり、今後も多くの予算措置が必要なため十分な予算配分を要望した。

勝又課長からは、全国的に共通する課題であり、予算要望も多く寄せられている。これからも予算要求はしていくが十分な配分がされるかは分からない。

<感想>

こちらでも社会資本総合交付金の活用ということでなかなか予算措置が難しいことは理解できるが、長野市には昭和時代に建設した公営住宅が多くあることや台風19号で被災した方々が住む復興住宅もあることから、今後もぜひとも十分な予算配分にご尽力いただきたい。

●国土交通省

国土政策局総合計画課長補佐 荒川 雅之 氏 他2名

「5. 第1次国土強靱化実施中期計画に示された施策への十分な予算確保」についての要望

令和7年6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に示される施策についても予算編成過程から人件費、資材価格等の影響を適切に反映するとともに、通常予算とは別枠で必要な予算を満額確保し、継続的・安定的に国土強靱化を推進していくことを要望

荒川課長補佐からは、急に公共事業企画調整課調査官や国土政策企画官が対応できなくなり申し訳ない。予算規模は20兆円。今後の災害状況を踏まえて必要かつ十分な予算配分をしていく。

<感想>

長野市に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風災害では多くの予算配分をしていただいたことに大変感謝している。長野市は、中山間地が7割を占めており急峻な地形と脆弱な地質に起因する法面崩落や大規模な地滑り等が多く

発生している。また、市街地の浸水害も起きている状況の中、今後とも災害発生時には必要な予算措置を早いタイミングで行っていただきたい。

●国土交通省

道路局国道・技術課長 西川 昌宏 氏

「3. 一般国道18号長野東バイパスの立体化整備の促進」について要望

一般国道18号長野東バイパスは、令和3年3月に車道部暫定開通、令和6年4月には須坂方面に向かう左折専用レーンの延長がされ、混雑緩和に効果があったと感じているが、今なお上り車線において慢性的な渋滞が発生しており抜本的な渋滞対策として立体交差化が切望されている。渋滞緩和に向けて整備促進の要望をした。

西川課長からは、現状はよく理解している。東外環状線沿線に多くの工業団地や企業が立地していることも理解した。引き続き予算確保に努力していく。

<感想>

長野市と連携して進めている事業であり、長野市も努力をしていかななくてはならないが、来年には五輪大橋が無料化され、再来年には善光寺御開帳があるため、さらなる事業の促進が求められている。これからも引き続き予算の確保にご尽力いただきたい。

長野市議会新友会

国への要望活動報告書

令和7年11月18日(火)

議員氏名 桜井 篤

◎10:10～10:30 若林健太 氏と意見交換会（農林水産省 会議室）

◎10:45～11:00 農林水産省

面会者：農林水産大臣 鈴木憲和 氏

◆要望内容

1. 鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額要望について

[回答内容]

現在、全国で熊の被害が多発しているが、熊対策は交付金の対象にならないのか。駆除の担い手の確保も含めて、政府で対策を検討している。

2. 地域計画を実現させる「農業情報連携プラットフォーム構築事業」に対する支援について

[回答内容]

先進的な事業であるが費用はどのくらいかかるのか。費用も負担して取り組もうとする姿勢は素晴らしい。良く分かったので是非進めてもらいたい。時間を作って、是非長野市を訪れて先進的な取組みを視察したい。

◎11:40～11:55 文部科学省

面会者：文部科学副大臣 小林茂樹 氏

◆要望内容

1. 校内教育支援センター支援員配置に関わる補助金の活用について

[回答内容]

長野県は1998年に冬季オリンピックを開催し、オリンピックレガシーがあり、スポーツは大きな力を持つ。不登校対策にしっかりと取り組んでいることは重く受け止める。不登校をこれ以上生まない、どうやって止めるかが喫緊の課題だ。現在の省の方針では、県が関与しないと直接の助成は難しいが、ほか

にも同様の要望があるので、何とかしないといけないと思う。まずは県によく話してもらいたいが、今後検討する材料にしていきたい。

◎13:00～13:15

国土交通省

面会者：国土交通審議官 塩見英之 氏

◆要望内容

(国土交通省へは全部で10項目の要望事項のうち、審議官へは重点3項目について説明を行ない、回答をいただいた。)

1. 都市計画道路の整備に対する支援（社会資本整備総合交付金事業）について
2. 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了について
3. 上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援の拡充について

〔回答内容〕

たくさん要望があるということは、我々の仕事が地域の皆さんに必要とされているということで、皆さんの安心と安全につながるよう、できる限りのことはしていきたい。

まず道路の関係は計画的に進めて行くにつくる。必要な予算を確保すれば事業を前に進められるので、今編成中の補正予算、来年度の当初予算において、できるだけ多くの公共事業予算を確保し、その中でこちらの事業にも配分できるよう努力したい。

河川の件は、被災当時、私も河川の仕事をしていた。河川の決壊の瞬間も映像で見えて、大災害で今もなお心が痛む。予算を重点的に充てて、スピード感を持って復旧させると言うことで緊急プロジェクトを作った。予定通り進んでいないところや物価の上昇などで増額になっているところはあるが、重要性自体は全く変わらないので、いち早く事業が進むように予算の確保をしたい。

流域治水という考え方は、地元の皆さんと一緒に地域の安全を確保していくという考え方で、今まで以上に国と市の連携が大事になってくるので、二人三脚でこのプロジェクトを最後までやり遂げていきたい。

水道の件は、非常に悩ましいことで、十分に理解した上で要望されていると思うが、料金で対応する部分と税金で対応する部分の両方があるが、能登の地震の経験も経て、一ヶ所やられたら全体がやられるといった重要なポイントの耐震化が進んでいないのが大きな問題だと改めて認識した。

料金でやる部分は料金で勝手にやれと冷たいわけではなく、
どういう説明、理屈をつければ補助金等で対応できるか、今年度も
予算で新しい要望もしている。すぐにガラッとはいかないかもし
れないが、要望の旨はよく理解した上で、ちょっとずつではあるが
改善をしていきたい。

今日は、重点の3つには入っていないが、スポーツ大会は重要
なポイントだと思う。なかなか予算は十分ではないが、1年前のリ
ハーサルに間に合うように、重点的に予算を充てるように考えて
いきたい。

他の項目についても、事前によく拝読して担当部局に検討させ
るようにしたいので、今後も地元の声を聞き、二人三脚で一緒に予
算確保に向けて努力していきたい。

◎13:30～14:00 第一生命日比谷ファースト GHQマッカーサールーム視察

◎14:30～14:40 国土交通省

面会者：都市局市街地整備課 企画専門官 高橋陽平 氏
都市局市街地整備課

防災拠点企画係長 齋藤正樹 氏

◆要望内容

1. 中央通り歩行者優先道路化事業への支援（善光寺表参道地区
都市構造再編集集中支援事業）について

〔回答内容〕愛称が決まって、まずは実験かなと思うが、実験
を踏まえてウォーキングなまちを目指すかなと思っているの
で、来年度からの新規事業に対して、予算とか先走ったことは
この場では言えないが、新規採択に向けて事務的ではあるが、
要件や中身の確認をさせていただくことがあるので、アドバイ
スもさせていただきながら、より良い都市構造の計画となるよ
うに、寄り添った対応をさせていただく。

長野駅から国道19号までが未整備だが、駅を使って訪れる方
も多いと思うので、こういう社会実験などを通じてより良い空
間にしていくのが、まちづくりとして望ましいと思っているの
で検討をお願いしたい。

2. 北長野地区の再整備に対する継続支援について（都市構造再
編集事業）

[回答内容]

この事業は継続事業だが、最近この都市構造事業は使い勝手がいいので、非常に要望が多くなっているため、要望された額に対して満足に配分できていないが、限られた予算の中でも少しメリハリを付けながら、自治体の皆さんが困らないように最大限の支援をしていきたいと考えている。

令和 10 年度の国スポや前大会がベンチマークなると思っているので、そこに間に合わせられるように効果的に予算を配分できるかを考えていきたいと思っている。

面会者：都市局公園緑地・景観課

公園利用推進官 下出大介 氏

都市局公園緑地・景観課 係長 新海友騎 氏

◆要望内容

1. 第 82 回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援について（社会資本総合整備事業）

[回答内容]

予算が限られている中で、コロナが明けてきた頃から公園事業の要望が増えているが、物価上昇の影響もあって要望額もかなり上がってきていて、配分率が悪くなっている。その中ではあるが、国民スポーツ大会は国を挙げて行なっているので、重点的に配分したいと考えている。

特にプレ大会に間に合わせるということも認識しており、そこへ向けて積極的に配分したいと考えている。ただ全国的に要望が多いので、満足な額を付けられるかというところはあるが、重点的な配分をしたいと思っている。

◎14:50～15:00

面会者：住宅局市街地建築課 課長 田中昌幸 氏

◆要望内容

1. 長野駅前B-1地区市街地再開発事業への支援について

[回答内容]

再開発は全国的に要望が多く、予算的にはかなり厳しい状況にあるが、頑張っ確保したいと思う。

面会者：住宅局住宅総合整備課 課長 勝又賢人 氏

◆要望内容

1. 既存公営住宅の長寿命化等に対する支援について

[回答内容]

公営住宅が老朽化している状況は承知しているが、他の自治体からの要望もかなり多いので、事業の必要性をしっかりとアピールしてもらい、一緒に進めていければと思っている。

◎15:10～15:20

面会者：総合制作局公共事業企画調整課調査官 和田紘希 氏
国土政策局総合計画課国土政策企画官 長尾亮太 氏
(両名とも国会対応のため代理者が対応)

◆要望内容

1. 第1次国土強靱化実施中期計画に示された施策への十分な予算確保について

[回答内容]

計画では、今後5年間で20兆円程度とし、骨太の方針でも近年の資材や人件費高騰等の影響を適切に反映して、今後の災害の発生状況や事業の進捗状況、経済状況や財政状況を踏まえて機動的に対応することとしている。

国交省としても今後策定される経済対策も含めて必要かつ十分な公共事業予算を継続的・安定的に確保することに努め、防災減災国土強靱化に努めていきたい。

◎16:10～16:20

面会者：道路局国道・技術課長 西川昌宏 氏
国土政策局総合計画課国土政策企画官 長尾亮太 氏

◆要望内容

1. 一般国道18号長野東バイパスの立体化整備の促進について

[回答内容]

よく事情は聞いている。渋滞もあって環状機能やインターへのアクセスなど、スムーズに流れるようになれば一定の効果があったと思う。五輪大橋につながる道路についても聞いており、要望頂いた件は皆様の声を聞きながら進めたい。

以 上

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 北 沢 哲 也

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
R7.11.18	農林水産省 大臣 鈴木 憲和	新友会 国への要望活動 報告書
		令和7年11月新友会では長野市の喫緊の課題に対する国の支援を
		求め、農林水産省・文部科学省・国土交通省の各大臣に対し要望活
		動を実施した。本報告書では、提出した要望書の概要と、活動を通
		じて確認された課題・今後の方向性について整理する。
		1. 農林水産省への要望
		まず、農林水産大臣には2点の要望を行った。
		1点目は、鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額であ
		る。長野市では鳥獣被害が依然深刻であり、捕獲従事者からはわな
		購入費や修理費、物価高騰による負担増の声が強い。市として国の
		補助単価に独自上乘せしているものの限界があることから、
		国としてのさらなる予算増額と補助単価見直しを求めた。
	文部科学省 副大臣 小林 茂樹	2点目は、地域計画を実現するための「農業情報連携プラットフォ
		ーム構築事業」への支援である。市内33地域で策定した地域計画
		を実効的に推進するため、農地・担い手・営農データを一体的
		に扱う先進プラットフォームの構築を検討しており、これを全国の
		モデルとして位置づけ、財政的・技術的な伴走支援を求めた。
		2. 文部科学省への要望
		文部科学大臣には、校内教育支援センター支援員配置に関する補助
		制度の柔軟化を要望した。

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 北 沢 哲 也

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
R7.11.18	農林水産省 大臣 鈴木 憲和	新友会 国への要望活動 報告書
		令和7年11月新友会では長野市の喫緊の課題に対する国の支援を
		求め、農林水産省・文部科学省・国土交通省の各大臣に対し要望活
		動を実施した。本報告書では、提出した要望書の概要と、活動を通
		じて確認された課題・今後の方向性について整理する。
		1. 農林水産省への要望
		まず、農林水産大臣には2点の要望を行った。
		1点目は、鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額であ
		る。長野市では鳥獣被害が依然深刻であり、捕獲従事者からはわな
		購入費や修理費、物価高騰による負担増の声が強い。市として国の
		補助単価に独自上乗せしているものの限界があることから、
		国としてのさらなる予算増額と補助単価見直しを求めた。
		2点目は、地域計画を実現するための「農業情報連携プラットフォ
		ーム構築事業」への支援である。市内33地域で策定した地域計画
	文部科学省 副大臣 小林 茂樹	を実効的に推進するため、農地・担い手・営農データを一体的
		に扱う先進プラットフォームの構築を検討しており、これを全国の
		モデルとして位置づけ、財政的・技術的な伴走支援を求めた。
		2. 文部科学省への要望
		文部科学大臣には、校内教育支援センター支援員配置に関する補助
		制度の柔軟化を要望した。

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 北 沢 哲 也

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
R7.11.18	国土交通省 審議官 塩見 英之 都市局市街地整備課 企画専門官 高橋 陽平 防災拠点企画係長 齋藤 正樹 都市局公園緑地・景観課 公園利用推進官 下出 大介 係長 新海 友騎 住宅局市街地建築課 課長 田中 政幸 住宅局住宅総合計画課 課長 勝又 賢人	国の補助拡充は示されているものの、長野県では新規に配置する 中学校のみを対象としているため、市立小学校で拡充を進める本市 の取り組みには活用できない状況である。そこで、市町村が独自に 配置を進める場合でも直接補助を受けられる制度とするよう求め た。不登校の低年齢化が進むなか、早期支援体制の強化は市にと って喫緊の課題である。
		3. 国土交通省への要望
		国土交通大臣には、市の都市基盤整備や防災対策に関する 10 項目 の要望を提出した。
		まず、都市計画道路整備に対する社会資本整備総合交付金の十分な 予算配分を求めた。人口減少社会に対応した集約型都市構造を確立 するため、市は立地適正化計画に基づく街路整備を進めており、家 屋移転など多額の費用を要することから安定的な財源確保が不可 欠である。
		次に、長野駅前 B-1 地区市街地再開発事業への支援である。表参道 の玄関口として再開発が求められており、商業活力の回復と安全な 都市空間の形成に向け、交付金の適切な配分を要請した。
		続いて、中央通り歩行者優先道路化に向けた支援を要望した。住民 主体の愛称「善光寺表参道」が誕生し、地域の機運が高まる中、社 会実験や計画策定に必要な新規採択と継続的な支援を求めた。
		また、一般国道 18 号長野東バイパスの立体化整備促進、国土強靱

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 北 沢 哲 也

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
R7.11.18	総合政策局公共 事業企画調整課 調査官 和田紘希 住宅局住宅総合計画課 国土政策企画官 長尾 亮太 道路局 国道・技術課 課長 西川 昌宏	化中期計画に基づく災害対策予算の確保、信濃川水系緊急治水対策
		プロジェクトの早期完了など、市の防災・減災に直結する重要イン
		フラ整備についても、重点的かつ継続的な支援を求めた。
		加えて、既存公営住宅の長寿命化支援、北長野地区再整備への継続
		支援、第 82 回国民スポーツ大会に向けた施設整備支援のほか、上
		下水道施設の末端管路までを対象とした補助制度拡充も強く訴え
		た。特に末端管路の更新は本市の中山間地特性から事業量が膨大で
		あり、現行制度では十分な支援が得られないことが課題である。
		4. まとめ
		今回の要望活動は、農業振興、教育支援、都市基盤整備、防災対策
		など、市民生活に直結する幅広い分野で国に対し重点的な支援を求
		める内容となった。いずれの項目も長野市が抱える構造的課題の解
		決に不可欠であり、国の制度や財政措置の拡充が進むかどうかは、
		本市の将来を左右する重要な要素である。
		新友会としては、今回の要望が確実に反映されるよう、国・県との
		継続的な連携を図りつつ、市政における課題解決と持続可能な地域
		づくりの実現に向けて、引き続き積極的な政策提案と活動を行って
		いく。

国への要望活動報告書

報告者: 松田 光平

実施日: 令和7年11月18日

■要望活動

- ・ 農林水産省
- ・ 文部科学省
- ・ 国土交通省

農林水産省においては鈴木大臣自らご対応いただき、鳥獣被害に対する支援拡大、農業情報連携プラットフォーム構築事業への支援を要望しました。鈴木大臣は、長野市で導入予定である農地管理情報システムの斬新さと長野市農林部のやる気を高く評価していただき、以前長野に来訪された折、善光寺周辺のリノベーションなどの取り組みに興味を持たれたとのことで、是非長野にもう一度見に行きたいと前向きな回答をいただきました。鳥獣被害に関しては、全国的に果樹など美味しいものがあること、里の農作物被害が深刻で対策は喫緊の課題。安心できるように対策を行うと回答いただいた。

文部科学省では小林副大臣にご対応いただき、教育支援体制整備事業費補助金における支援員については、長野県の予算措置で長野市は対象にならず、直接国からの補助を要望しました。

長野市での SaSaLand の取り組みを高く評価していただき、さらに支援員の必要性をご理解いただけましたが、現状では県を通しての補助が前提であるとのこと回答でした。

国土交通省では塩見審議官にご面会いただき、10ある要望項目のうち主な3項目、街路4路線における社会資本整備総合交付金、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了の十分な予算措置、上下水道の長寿命化対策について要望しました。

地元の重要な要望であり、困っている状況を伺いましたので一日も早い完成を目指して努力させていただきます、と回答いただきました。

道路は生活に直結することで予算があれば進捗するということですから、現在審議中の補正予算に盛り込んだうえ、来年度の予算にもできるだけ多くの予算を計上したい。緊急治水対策については、今もなお令和元年の災害に心を痛めていて、進捗が予定通り進んでいないことで、できるだけ多くの予算配分を行い、地域と国の二人三脚で最後までやり遂げたい。

上下水道のことに關しては、大変悩ましく、本来利用料金をもって整備することが前提であり、十分承知したうえでの要望と思いますが、能登の地震においても老朽施設の更新や耐震化が進んでいない状況が顕在化。担当課でも料金で運営しろと言えない状況で知恵を絞りながら対策を考えている状況で、対応には時間を要するが要望の趣旨は理解いたしました、と返答いただきました。

《 考 察 》

国土交通省所管の社会資本整備は「コンクリートから人へ」という風潮の中で20年以上遅れてしまったが、コンクリートの劣化は進んでおり、継続的な更新予算が必要であり、新政権が積極的財政に舵を切っているところであり、国土強靱化対策として社会資本整備予算の確保に期待をしたい。

行政視察報告書 (No.2) (視察参加者必須)

報告者氏名 箱山 正一

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
令和7年 11月18日 国への要望 活動	10:10～ 農水省会議室	【打合わせ・意見交換】 若林健太 氏 (前衆議院議員) 同席
	10:45～ 農林水産省	【要望活動】 ① 「鳥獣被害防止総合対策交付金 (捕獲補助金) の増額要望について」 要望先: 農林水産大臣 <u>鈴木 憲和 氏</u> 【対応内容】 ・最近の報道にもあるように、全国で熊の農作物への被害を超えて、人的被害にまで及んでおり多発している現在、熊対策は交付金の対象にならないが、駆除の担い手を確保することも含め、政府での対策を検討している。 ② 「地域計画を実現させる『農業情報連携プラットフォーム構築事業』に対する支援について」 【対応内容】 ・先進的な事業であるが、なぜ長野市は農業政策にそこまで積極的なのか、費用も国だけに頼ろうとせず、負担して取り組もうとしている積極性を見習いたいところ。ぜひ進めてもらいたいし、国も支援していく。ぜひ、また長野市に箱山議員の案内で先進的なその取り組みについて視察したい。
	11:40～ 文部科学省	【要望活動】 ③ 「校内教育支援センター支援員配置に関わる補助金の活用について」 要望先: 文部科学副大臣 <u>小林 茂樹 氏</u> 【対応内容】 ・長野市は1998年の冬季オリンピックのレガシーがあつて、市長もオリンピックであり、スポーツは教育面においても大きな力となる。長野市が熱心に不登校対策に取り組んでいることは聞いている。これ以上不登校を増やさないためにどうして行くかが課題である。現在の国の方針では、長野県が動かないと直接の支援は難しい。他の地域でも同じような要望があるので、なんとかしないといけないと考えている。直近では長野県ともよく話してみてもらいたい、こちらとしては検討材料にしていく。

13:00～ 国土交通省	【要望活動】 ④ 「都市計画道路整備に関する支援（社会資本整備総合交付金事業）について」 ⑤ 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了について」 ⑥ 「上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援の拡充について」 ※国土交通省へは10項目の要望項目のうち、審議官へは重点3項目について説明し、回答をいただいた。 要望先：国土交通審議官 塩見 英之 氏 【対応内容】 ・たくさんの要望があり驚いているが、我々の仕事が地域のみなさんに必要とされていることの表れであり、地域の安心と安全につながるよう、できる限りのことをしていく。 道路の関係は計画的かつ着実に進めていく。予算の確保ができれば事業が進んでいくので、ちょうどいま編成中の補正予算、来年度の予算において、できるだけ多くの公共事業予算が獲得できるよう努めていく。 河川の関係は、長野市の台風19号災害の時には、私も河川の仕事をしており、決壊の瞬間も映像をリアルタイムで見ていた。すさまじい災害であったと記憶している。予定通り進んでいないところや、近年の物価上昇による資材の高騰で増額になっているところがあるが重要性が高いので、早く事業が進むように予算の確保をしていく。流域治水はまさに地元のみなさんと一緒に地域の安全を確保していくということなので、今まで以上に国と市の連携が大事になってくると考えており、二人三脚でこの事業を最後までしっかりやり遂げたい。 水道の件は独立会計になっているためとても悩ましく、料金で対応していく部分と税金で対応する部分の両方がある。能登半島地震の経験もあり、1カ所ダメになっても全体に影響することがあるため、重要な部分の耐震化を最優先で進めていくことが重要であると認識している。どういう説明をすれば補助金で対応できるか今年度予算でも新たに要望している。すぐに変えることはできないかもしれないが、要望内容をよく理解したうえで改善していきたい。 重点項目にはないが、国スポ・全障スポの準備も重要だと考えている。予算は十分とは言えないかもしれないが、1年前のリハーサルに間に合うように国としても重点的に予算を充てるように考えていく。 他の要望項目についてもよく読み込んで担当部局に検討させるので、今後も地域の声を踏まえて、一緒に予算確保に向けて努力していく。
14:30～ 国土交通省	【要望活動】 ⑦ 「中央通り歩行者優先道路化事業への支援（善光寺表参道地区都市構造再編集中支援事業）について」 ⑧ 「北長野地区の再整備に対する継続支援について（都市構造再編事業）」 要望先：都市局市街地整備課 企画専門官 楠橋 陽平 氏 防災拠点企画係長 齋藤 正樹 氏

【対応内容】

・愛称が決まって、次は社会実験かなと思うが、ウォークアブルなまちを目指すにあたって、来年度からの新規事業に対して予算を確実につけるとはこの場では言えない部分もあるが、新規採択に向けて要件の中身をこちらとしても確認して、アドバイスもさせていただきながら、よりよい長野市の都市構造になるようにしっかりと対応させていただく。長野駅から国道19号までが未整備だが、駅を使って長野市内外へ訪れる方が多いと思うので、こういった社会実験を通じてより良い空間にしていくことがまちづくりには欠かせないと感じている。

・北長野地区の再整備に関しては継続事業だが、最近この都市構造事業は使い勝手がいいので非常に要望も多くなっている。そのため希望額に対して十分に配分できていないが、限られた予算の中で少しメリハリを付けながら、自治体のみなさんが困らないように最大限の支援をしていく。

令和10年度の国スポや前大会がタイミングとして重要になってくると思っており、そこに合わせられるように効果的に予算を配分できるかを考えていきたいと思っている。

⑨ 「第82回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援について（社会資本総合整備事業）」

要望先：都市局公園緑地・景観課

公園利用推進官 下出 大介 氏
係長 新海 友騎 氏

【対応内容】

・限られた予算の中で、コロナが明けてきたあたりから公園事業の要望が増えている。さらに、物価上昇、資材高騰の影響もあって要望額もかなり上がって来ており、配分率が悪くなっている。その中ではあるが、国民スポーツ大会は国を挙げて行っているため、重点的に配分したいと考えている。

⑩ 「長野駅 B-1 地区市街地再開発事業への支援について」

要望先：住宅局市街地建築課

課長 田中 昌幸 氏

【対応内容】

・再開発は全国的に要望も多く、予算的にかなり厳しい状況ではあるが、頑張っ確保したい。

⑪ 「既存公営住宅の長寿命化等に対する支援について」

要望先：住宅局住宅総合整備課

課長 勝又 賢人 氏

【対応内容】

・公営住宅が老朽化している状況は承知しているが、他の自治体からの要望も多く、事業の必要性をしっかりとアピールしていただき、一緒にすすめていきたいと考えている。

	15:10～ 国土交通省	⑫ 「第1次国土強靱化実施中期計画に示された施策への十分な予算確保について」 要望先：総合制作局 公共事業企画調整課 調査官 <u>和田 紘希 氏</u> 国土政策局 総合計画課 国土政策企画官 <u>長尾 亮太 氏</u> 【対応内容】 ・計画では今後5年間で20兆円程度とし、骨太の方針でも最近の資材高騰の影響を適切に反映して今後の災害発生状況や事業の進捗、経済状況や財政状況を踏まえ、機動的に対応していく。国交省としても、今後策定される経済対策も含めて必要かつ十分な公共事業予算を継続的、安定的に確保することに努め、防災減災国土強靱化に努めていく。
	16:10～ 国土交通省	⑬ 「一般国道18号長野東バイパスの立体化整備の促進について」 要望先：道路局 国道・技術課長 <u>西川 昌宏 氏</u> 国土政策局 総合計画課 国土政策企画官 <u>長尾 亮太 氏</u> 【対応内容】 ・事情はよく聞いており、渋滞もあって環状機能や高速インターへのアクセスなどスムーズに流れるようになれば一定の効果があつたと思う。五輪大橋につながる道路についても聞いており、今回要望いただいた件は、みなさんの声を聞きながら進めていく。

【所 感】

12月議会前の忙しいタイミングではあったが、今年度2回目となる、国への要望活動を計画し、今回は主なる13項目にしばって要望を提出した。

個人的に農水省については、2021年4月の国政選挙に出られた小松ゆたか氏の選挙に応援で山形から長野へ入った小松氏と国会議員同期の「鈴木憲和氏」をたまたま箱山が長野市内を案内したことから、交流があり、今回の要望について直接お願いすることができた。今回、高市政権になり、農水大臣になられたことから、今度は農水大臣として「長野市の農業政策について視察したい」という本人からのお話も聞けて、引き続き可能な限り、鈴木大臣と交流を図って実現させたい。

我々最大会派の議員が一丸となって会員全員で国へ要望活動を行う事は、相手方にとっても大変インパクトがあり、これまでの予算付けの結果を踏まえても大変意義のあることだと感じている。市当局とも連携、情報の共有を図りながら来年以降も要望活動を継続していきたい。

以 上